

集中治療用ベンチレーター エビタ

ドレーゲル社製のマイクロプロセッサベンチレーターエビタは、すべての換気モードが使用可能な多機能人工呼吸器でありながら、操作性、安全性に優れた設計となっています。最近の人工呼吸管理は、自発呼吸を残したままの換気モードが多く使われる傾向があります。従って、人工呼吸器の選択に当たっては、自発呼吸下でのモード、すなわち、CPAP、PSV、APRVなどのモードがいかに優れているかを考慮することが大切です。

特長：1. すべての換気モードに対応できる高性能

- ・SIMV, EMMV, ASB, CPAP 機能の組合せにより自発呼吸を一層スムーズに促進します。
- ・ASB (Assisted Spontaneous Breathing 自発補助呼吸) 機構は補助圧だけでなく吸気フロー速度も任意設定することにより、患者の一回自発換気量に適合した ASB 圧ライジングタイムを選択することができます。これによりASB モードは、単なるプレッシャーサポートに比較して、より患者に優しい効果的な圧補助呼吸を可能にしています。
- ・ASB モード動作中の患者無呼吸時には、バックアップ換気としてIPPVモードに切り換ります。
- ・BIPAP (Biphasic Positive Airway Pressure)機能、これは、CPAP の圧レベルを二通りプリセットし、その圧が設定時間により交互に繰り返す方式です。各々の圧の持続時間は自由に設定できるため、いわゆる Airway Pressure Release Ventilation (APRV) としても使用可能です。APRVより優れた点は、高い圧に移るときに自発呼吸に同調することです。BIPAP, APRV の臨床評価はまだ出ていないのが現状ですが、大変興味のある換気補助法です。
- ・DLV (Differential Lung Ventilation 左右独立換気) 機構は2台のエビタにより、片肺ずつ独立に換気することができます。
- ・Pmax (圧制限) 機構は換気量の損失の無いピーク圧カットができ、さらに吸気側にリークがあった場合の換気量補正機構としても有効です。

- ・PEEP時のリーク自動補正機構を内蔵しています。
- ・頻呼吸モニタリング機構により、自発呼吸回数と時間をプリセットし、この条件を満たすと頻呼吸とみなしアラームします。
- ・IE比は、1:5 から 4:1 まで。IRV が、可能です。
- ・100%O₂ ガスフラッシュ機能は、サクシオン前後でフルオート動作が可能です。
- ・ジェット噴射式薬剤ネブライザーを標準装備。

2. 容易な操作性

- ・パラメーターの設定は一目で確認できるダイヤルセット
- ・選択した換気モードにより“要セット”のダイヤルにグリーンライトが点灯し誤操作を防止しています。

3. 多彩なモニタリング機能

- ・気道内圧と呼気吸気フローのアナログカーブをLCD表示。
- ・FIO₂、分時換気量は離れた所からでも見やすいLEDによるデジタル表示。
- ・さらに次の3グループが切り換えてデジタル表示されます。

- 1) ピーク圧、プラトー圧、PEEP、平均気道内圧
 - 2) 吸気温度、一回換気量、呼吸回数、気道抵抗、コンプライアンス
 - 3) 自発呼吸時の分時換気量、呼吸回数、CPAP
- ・その他ユーザーガイダンスがスクリーン上に表示され、実行中の換気方式や機器状態が確認できます。
4. 自動アラームセット
FIO₂、気道内圧は上限値および下限値、吸気温度は上限値がそれぞれ自動セットされます。

エビタのソフトウェアは、拡張の余裕が十分あり将来の機能追加に備えています。

帝京大学病院ME部

臨床工学技士 齊藤 智光

帝京大学病院救命救急センター

多治見 公高

人工呼吸器として初の、
BIPAPモードを搭載
さらに**グレードアップ**

Microprocessor-controlled ventilation
by means of Evita.

最先端人工呼吸器/エビタ

Evita

●豊富な換気モード

IPPV SIMV MMV ASB
BIPAP バックアップ換気 (ASB・CPAP)

西独ドレーゲル社製

●ASB速度設定

ASB時の設定圧に達する時間を変えられますので、気道抵抗が大きくなっても、1回換気量を充分確保するような設定が可能です。

●Pmax (吸気圧設定)

Pmax設定により、最高気道内圧を低く抑えた場合にも、吸気時間を自動延長し、設定換気量を確保します。

従来の機能はそのまま、さらに、

●BIPAPモード

2つのCPAPレベルを設定することにより、APRV* CPAPによるSIMV、などの自在な設定が可能に。

*APRV: Airway pressure release ventilation.

●バックアップ換気 (ASB・CPAPモード)

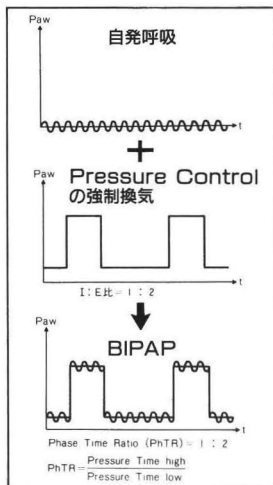
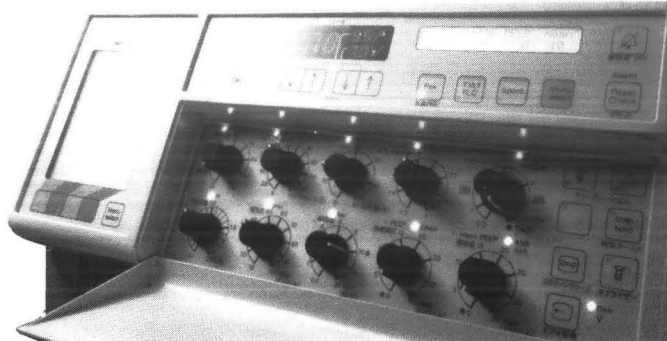
アプニア時間を事前に設定しておく、患者の自発呼吸が停止した場合、自動的にIPPVモードに移行します。

●タキニアラーム

あらかじめ発生条件を設定しておく、自発呼吸時に起きる頻呼吸 (無効換気) に対するアラームが発せられます。

●O₂100%キー

サクシジョンの前後に100%酸素を供給するためのキーで、ワンタッチで行えます。



あえてダイヤル・ツマミ方式を採用。設定操作がやさしく、設定内容の確認も容易です。

エレクトロニクスで病魔に挑戦する



日本光電

〒161 東京都新宿区西落合1-31-4
☎03(953)1181 宣伝課

詳しい資料を用意しております。
当社までお気軽にご請求下さい。